平成30年度　授業改善推進プラン　全体計画

東大和市立第四中学校

東大和市教委教育目標

・互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間
・社会の一員として、社会に貢献しようとする人間
・自ら学び考え行動する、個性と想像力豊かな人間の育成に向けた教育を重視

学校教育目標

人権尊重の精神を基調として、心の教育をさらに進め、人間性豊かな生徒の育成を目指す。
・自ら考え、学び続ける生徒
・豊かな心をもち、自他を尊重する生徒
・健康で、たくましく生きる生徒

生徒の実態・期待される生徒像

・規範意識をもち、公共心を備えた生徒
・社会性・コミュニケーション能力を備えた生徒
・自分や自分の将来に前向きに取り組む生徒

学校経営方針

・基礎･基本的な知識および技能を習得し、それらを活用できる生徒を育成する。
・人間としての生き方についての自覚を図り、あたたかい人間愛の精神をもった生徒を育成する。
・心身の健康の保持・増進を図るとともに、価値ある自分の将来を生きるための見通しをもった生活ができる生徒を育成する。

指 導 目 標

本校では、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図り、以下の力を柱として「確かな学力」の育成を推進する。
・基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け自ら進んで学習する力を育成する。
・学習やコミュニケーション能力の基盤となる「言語力」を育成する。
・基本的な生活習慣を身に付けると共に協調性・責任感・忍耐力・規範意識を育成する。
・主体的に学習計画を立て、自らすすんで学習する力を育成する。
・体験的な学習・課題解決的な学習・情報に関する学習・自己を見つめる学習等から、自己を見つめ、表現力を育成する。
・学ぶ力・学ぼうとする力・学んだことを生かす力を育成する。
・自分で課題を発見して、その課題を解決する意欲・態度・能力を育成する。

各教科の指導の重点

・教科の基礎的・基本的内容の徹底、言語活動の充実
・個に応じた指導の充実(習熟度別少人数授業・ＴＴ授業の指導)
・学校図書館、視聴覚機器、コンピュータ等の効果的な活用
・指導と評価の一体化を目指し、学習意欲を高める指導
・指導計画に基づく、計画的指導
・東大和市小中一貫教育プログラムを活用した授業改善
・授業の一層の質の向上

道徳の指導の重点

・道徳的価値の自覚を深める
・道徳的実践力の育成
・東京都道徳教育推進校として指導内容・評価の充実を図る。

特別活動の指導の重点

・自主的、主体的な態度、個性の伸長、
・企画・調整力の育成、人と関わる力の伸長

進路指導の重点

・学んだ知識を相互に関連付け、生活に生かす力
・自己の生き方や在り方を考える力

生活指導の重点

・あいさつを習慣化することを目指す。
・時間を守ることの大切さを意識させる。
・使えるものを大切に使う。
・服装・身だしなみ・言葉づかいを整えさせる。
・問題行動に対する意識を高める。

総合的学習の時間

・自ら課題を発見し、学び、考え、よりよく問題を解決する力
「課題設定力」「追究する力」「まとめる力」「表現力」「評価する力」

本 校 の 授 業 改 善 に 向 け た 視 点

学習内容・方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内研修・研究の工夫	評価の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
基礎的･基本的な知識及び技能の指導内容を明確にし、定着を目指す指導方法の工夫を図る。	授業時数を確保し、創意工夫のある教育の編成･実施を図る。	小中連携を推進し、9年間を見通した指導を推進する。	教員の授業改善及び指導法の工夫を通し、適正な評価の充実を図る。	学校運営連絡協議会、諸行事を通して地域との連携を図る。